

## きょうの米原高校(5月21日)

今日は重い曇り空ですが、一杯に大きく息を吸い込むと空気の爽やかさを感じます。1年生のみなさんの登校日。元気な顔が見られています。

滋賀県米原市西円寺(さいえんじ)1200。本校の女子の冬制服のネクタイの緋色の元でもある「西円寺(西圓寺)」。住所で見えても実際には知らない「西円寺」を覗いてきました。



西円寺は、米原高校から見て北の方にあります。理数棟の裏の山からは400メートルほどの山の向こうです。今は通行できる道はありませんので、国道や県道をぐるりと回って行かなければいけませんが、地図上で見ると思った以上に近い場所にあることに気がつきます。



西円寺から見た米原高校の方角です。山の向こうは米高です。(見えないけど) 緑に囲まれたお寺です。



この2枚の写真は、国語科の三久保先生にいただきました。2年前の平成30年の秋、西円寺の33年に一度の御開帳法要が行われた時の写真だそうです。次に御開帳法要が行われるのは、31年後です。

西円寺は、1388年に天台宗の寺院として建立されました。佐々木・京極氏の重鎮今井一族の菩提寺でしたが、織田信長の比叡山焼き討ちの際に有力寺院であったが為に焼き討ちにあいました。その後、江戸初期に中国の隠元禅師の伝えた黄檗禅宗の寺院として復興開山し、今に到っているそうです。山門は中国風の異国情緒漂う趣のある珍しいもので、左右の龍にお出迎えしてもらえます。

私たちの通う米原高校は、歴史ある地域にあることに改めて気づきました。